

阿賀野川

aganogawa E-toko dayori

えとこだより



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

「かつて炭焼きにも利用されていた、阿賀野川上流域のブナ林」場所：阿賀町柴倉区

もく

エスディーズ 阿賀野川流域のSDGs^(※1)をさぐる

持続可能な地域の今後を探る
未来志向の場にしていくために

F M事業^(※2)ではこれまで、「阿賀野川流域の歴史や文化が織りなす光と影」をテーマとしたイベントやツアーを流域各地で数多く開催してきました。参加された方々からは、「過去の流域への理解が深まった」と、おおむね好評をいただいています。

しかし、これらのテーマが「流域での現在の暮らしや地域の未来」へ具体的にどうつながるのかと問われると、必ずしも明確に回答できませんでした。この問いに答えるには、F M事業を持続可能な地域の今後……今風に表現すれば「SDGs」を探る未来志向の場へと、バージョンアップさせていく必要があります。

そこで今年度からは、これまでの「阿賀野川流域の歴史や文化・光と影をベースとしつつも、「流域の水環境や食の恵み、自然資源や風土に深く根差した企業・団体等」をイベントやツアーの中に積極的に組み入れる試みを実施してまいります。こうした試みの積み重ねが、最終的に「阿賀野川流域のSDGsをさぐる」ことにつながると考えています。

- 特集1 阿賀流域再発見・連続ツアー講座 2023 — 2
〜阿賀野川流域のSDGsをさぐる〜
清らかな水を守り活かす、阿賀野川
上流域の持続可能な豊かさとは？
- 特集2 阿賀の宝もん★発掘レポート(第10回) 4
・新潟お笑い集団NAMARAの高橋なんぐ
- 特集3 阿賀野川エコミュージアムを目指す流域
再生フォーラム(第11回)開催レポート 6
- 令和4年度ロバダン開催マップほかお知らせ 7
インフォメーション

※1「Sustainable Development Goals」(= 持続可能な開発目標)の略称。詳細はP.2参照。 ※2「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細はP.8参照。